

CIインサイトレポート

－ IgA腎症 －

【 目次見本 】

2025.1

§ レポートTOPICS

調査対象疾患

IgA腎症

患者動向

- 患者動向について分析・検証
 - 受診状況/受診経緯について分析・検証
 - 指定難病医療費支給認定のリアルな取得状況について検証
 - 国内のリアルな患者数について検証
- ⇒ IgA腎症患者の最新動向について徹底分析・検証！

診断動向

- 腎生検の実施状況について分析・検証
 - 腎生検以外の診断方法の実施状況について分析・検証
- ⇒ 確定診断の最新実態について徹底分析・検証

治療動向/
治療成績

- 重症度の判定基準について分析
 - 臨床上で実施している治療法/処方薬剤について分析
 - 現状での治療成績（寛解導入・再発状況）について検証
- ⇒ 最新治療実態・既存治療のアンメットニーズを徹底検証！
扁摘パルス療法のリアルな実施状況は？治療成績は？

新規薬剤

- Class別・薬剤別に治療薬としてのポテンシャルについて検証
 - 新規薬剤の薬価受容性について検証
- ⇒ 新規薬剤のポテンシャルを徹底検証！
⇒ KDIGO2024ガイドライン案に沿って各Classの処方動向を徹底予測！
扁摘パルス療法からのシフトは？パラダイムシフトの方向性は？

調査ポイント・
topics

■ 主要調査対象

※太字は調査重点対象

疾 患		IgA腎症	
治療法/ 治療薬	既存治療法/既存薬	既存治療法	扁桃摘出術（併用）
			口蓋扁桃摘出術（単独）
			ステロイドパルス療法（単独）
		既存薬	経口ステロイド
			RAS阻害薬
			SGLT2阻害薬
	新規薬剤 （開発薬）	抗APRIL	シベプレニリマブ、ジガキバート
		抗APRIL/BAFF	アタシセプト、ポベタシセプト
		コルチコステロイド	ブデソニド
		ARB/ETA	スパルセンタン
		ETA	アトラセンタン
		補体B阻害薬	RG6299/イプタコパン
		補体C5阻害薬	ラブリズマブ

§ レポートPart別概要

調査種類	Part I データ分析編	Part II 定量調査編	Part III KOLヒアリング編
調査手法	(オープンソースを基にした) データ分析	インターネットによるWEB調査	デプスインタビュー
調査対象医師／ 対象医師数	－	IgA腎症 臨床医 計 214名	IgA腎症 TOP KOL 3名 【関連学会 役員】
調査対象診療科 ＜施設種類＞	－	腎臓内科/透析科、一般内科、泌尿器科 ＜HP/GP＞	腎臓内科 ＜HP＞
調査内容	<p>＜既存薬＞ 治療薬一覧、臨床試験、関連論文</p> <p>＜開発薬（国内/海外）＞ プロフィール、作用機序・特性、 臨床試験、関連文献</p> <p>＜その他＞ 注目企業動向、関連学会情報</p> <p>＜別添＞ 抄録集（関連論文）</p>	<p>＜診療・患者動向＞</p> <ul style="list-style-type: none">● 診療患者数● 受診状況/受診経緯● 指定難病医療費支給認定取得状況 <p>＜診断状況＞</p> <ul style="list-style-type: none">● 確定診断方法● 腎生検実施状況 <p>＜治療状況/治療成績＞</p> <ul style="list-style-type: none">● 治療法/治療薬処方状況● 治療法/治療薬別満足度● 治療成績（寛解導入率/再発率） <p>＜新規薬剤（開発薬）処方動向予測＞</p> <ul style="list-style-type: none">● 薬剤別処方意向・期待度/処方ターゲット● 価格帯別受容性● 新規薬剤参入後の指定難病医療費支給 認定取得状況の変化動向 <p>● 既存治療のアンメットニーズ</p> <p>● 重視する臨床試験データ</p> <p>等</p>	<p>＜診療・患者動向＞</p> <ul style="list-style-type: none">● 受診状況/受診経緯＊● 指定難病医療費支給認定取得状況＊● 国内IgA腎症患者実態に対する見解＊ <p>＜診断状況＞</p> <ul style="list-style-type: none">● 確定診断方法● 国内腎生検実施状況＊● 今後の鑑別診断動向＊ <p>＜治療状況/治療成績＞</p> <ul style="list-style-type: none">● 重症度判定● 治療法/治療薬処方状況＊● 治療成績（寛解導入率/再発率） <p>＜新規薬剤（開発薬）処方動向予測＞</p> <ul style="list-style-type: none">● 薬剤別ポテンシャル分析● KDIGO2024ガイドライン案を用いた 薬剤別処方動向予測＊ <p>等</p> <p>＊ 国内全体の実態/将来動向についての 検証/予測を含む</p>
調査実施時期	2024年 10月 ～ 12月		
体裁／頁数	Part I・・・P P T（or E X C E L）、Part II & III・・・P P T / A 4 計約300ページ（報告書本編のみ、別添は含まない）		
レポート価格	レポート本編 ※オプション	フルセット＜3パート＞ ロウデータ ロウデータ + ターゲットマッチング	1 9 0 万円（税別） 6 0 万円（税別） 7 0 万円（税別） ＊Part別販売 応相談

< Part I データ分析編 目 次 >

調査概要	3	IV. 学会情報	26
■ 疾患概要	4	IV-1.日本腎臓学会	27
I. 既存品	9	IV-2.日本腎臓学会東部	32
I -1.プロフィール	10	IV-3.日本腎臓学会西部	38
I -2.臨床試験 (UMIN)	13	IV-4.日本小児腎臓病学会	43
I -3.臨床試験 (jRCT)	14	IV-5.日本小児腎不全学会	47
II. 開発品	15	IV-6.IgA腎症研究会	49
II -1.プロフィール	16	IV-7.IgA腎症国際シンポジウム	50
II -2.作用機序・特性	19	V. 関連文献	52
II -3.臨床試験 (jRCT)	21	V -1-1.既存品・製品別	53
III. 関連企業動向	23	V -1-2.既存品・複数	57
		V -2.開発品	58
		V -3.既存品+開発品	59

< Part II 定量調査 要約編 目次 >

調査概要	3
回答者プロフィール	4
§.Executive Summary	5
§.Summary	13
1) 診療状況	14
2) 診断状況	17
3) 治療状況	20
4) 治療成績	30
5) 開発薬認知状況・処方動向	32
6) 既存治療のアンメットニーズ	50
7) 重視する臨床試験データ	53

< Part II 定量調査 結果編 目次 >

調査概要	3	4) 治療成績	29
回答者プロフィール	4	4-1.寛解導入状況	30
§ 調査結果	5	4-2.再発状況	32
1) 診療状況	6	5) 開発薬認知状況・処方動向	33
1-1.診療患者数	7	5-1.薬剤別認知状況	34
1-2.受診状況(受診経緯)	8	5-2.薬剤別処方意向・期待度	38
1-3.重症度別患者数/指定難病医療費支給認定取得患者	9	5-3.処方ターゲット	43
2) 診断状況	10	5-4.価格帯による処方意向への影響度	50
2-1.診断方法	11	5-5.新規薬剤上市後の指定難病医療費支給認定患者の変化動向	51
2-2.腎生検実施状況/腎生検による確定診断患者	13	5-6.在宅自己注射の可否による処方意向への影響度	52
3) 治療状況	14	5-7.新規薬剤上市後の処方優先度	53
3-1.治療目標	15	5-8.既存治療への影響度(処方数減少治療法/薬剤)	55
3-2.治療法/薬剤別処方状況	18	6) 既存治療のアンメットニーズ	59
3-3.治療法/薬剤別治療満足度	24	7) 重視する臨床試験データ	63

< Part Ⅲ KOLヒアリング編 目次 >

調査概要	3
Summary	6
1. 患者動向	17
2. 診断状況	22
3. 治療実施状況	26
4. 治療成績	31
5. 既存治療のアンメットニーズ	34
6. 新規薬剤（開発薬）ポテンシャル分析	36